

建設通信新聞

Architectures, Constructions & Engineerings News (Daily)

2020年(令和2年)2月5日(水曜日)

(第三種郵便物認可)

6県に活動展開

JSCA東北

日本建築構造技術者協会東北支部(JSCA東北、平山浩史支部長)は1月31日、仙台市内のパレスへいあんで2020年新年賀詞交歓会を開いた。会員や賛助会員ら約130人が出席し、ことし1年の隆盛を祈念した。

賀詞交歓



席上、あいさつに立った平山支部長は、就任からの8カ月間を振り返りつつ「引き続きJSCAの活動を東北6県に広めていくため「ワンチーム」として活動を展開

していきたい」と強調した。写真。

この後、来賓の板橋薫東北地方整備局営繕部長らの祝辞に続いて、源栄正人東北大名管教授の音頭で乾杯した。

また、日本建築学会東北支部構

造部会との共催による新年記念講演会では、細澤治大成建設設計本部顧問が「新国立競技場の設計について」と題して、木と鉄のハイブリッド化による高耐久建築の取り組みを紹介した。